

平成 29 年度 ISS ワークショップ「自主防災」について

平成 29 年 10 月
浦和学院保護者の会
会長 山田 正憲

平成 29 年 9 月 2 日、第 2 回理事会終了後、「自主防災」についてのワークショップを行いました。

自助（個人・我が家でできること）・**共助**（職場・地域の人々と協力してできること）・**公助**（行政と連携してできること）の視点から、平時の取り組みとしてできること、災害時の取り組みはどのようなものがあるかを、それぞれ考え話し合いました。

住んでいる家（一戸建て、マンション等）や、近隣の様子等、人それぞれ違いがあります。普段から家族と、避難場所や緊急時の連絡方法について、話し合っておくことが大切です。

また、非常用袋は備えていても、押し入れの中にしまっていては、いざという時に取り出せない可能性があります。玄関の近くに置いておくだけで、持ち出しやすくなるかも知れません。自助の平時の取り組みは、そのような視点を持つだけで、より有効性が高まるということが分かりました。

いつ起こるか分からない災害。必要なものは（女性は衛生用品も忘れずに）、直ぐに持ち出せるように、カバン等にまとめておくというアドバイスが三上先生からありました。今回のワークショップは、自主防災について考える良いきっかけとなりました。

	自 助	共 助	公 助
平時の取組	くつぎ部屋に置いておく 非常袋の用意、げんかに置く 車や非常袋の確認 備忘 家族の決まり事 心算はともみ図算(10以内中心)	お盆の場所の確認 お盆 にきだい、日用品等(画)でできる その場所の確認	図やホームページなどの確認
災害時の取組	家族の確認等 安全の確保(いる場所) 安全の衣類 避難の確認	情報交換	お盆 非常袋の準備の活用方法 品出し合う 客観的に見て判断
	自助：個人・我が家でできること	共助：職場、地域の人々と協力してできること	公助：行政と連携してできること

